

2 検討経緯

(1) これまでの検討経緯

鉄道敷地に関するこれまでの検討は、平成11年度に策定した「中心市街地街づくり総合計画」において鉄道敷地の利用を位置付けて以降、地元勉強会、市民アンケートや検討報告会など、市民参加を行いながら様々な検討を進めてきました。

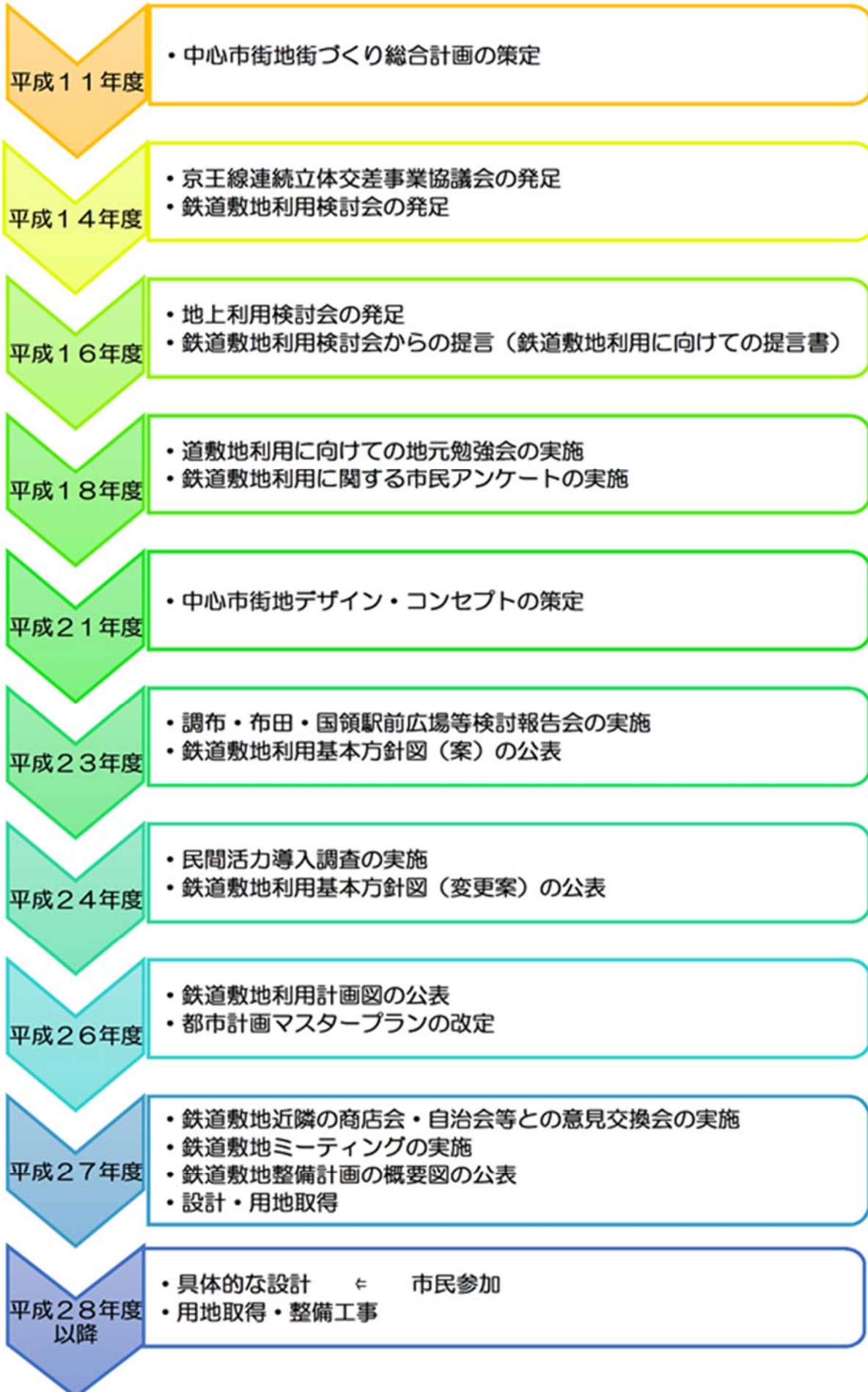
検討を進める中で、平成16年度には、公募市民などで組織された鉄道敷地利用検討会から、今後の鉄道敷地利用の考えや意見を示した提言がありました。

平成21年度には、にぎわいと環境の調和した中心市街地を目指すためのコンセプトとして「中心市街地デザイン・コンセプト」を策定しました。

そして、平成23年度に鉄道敷地の利用方針を示した「鉄道敷地利用基本方針図（案）」、平成24年度に利用の用途を一部変更した「鉄道敷地利用基本方針図（変更案）」、平成26年度には鉄道敷地利用の最終の取りまとめとして「鉄道敷地利用計画図」を公表しました。

平成27年度には、「鉄道敷地利用計画図」を基に、今後の鉄道敷地整備の方針について、鉄道敷地近隣の商店会・自治会等と意見交換会を行い、鉄道敷地ミーティングを実施しました。

(これまでの検討経緯と今後の予定)



(2) 中心市街地デザイン・コンセプト

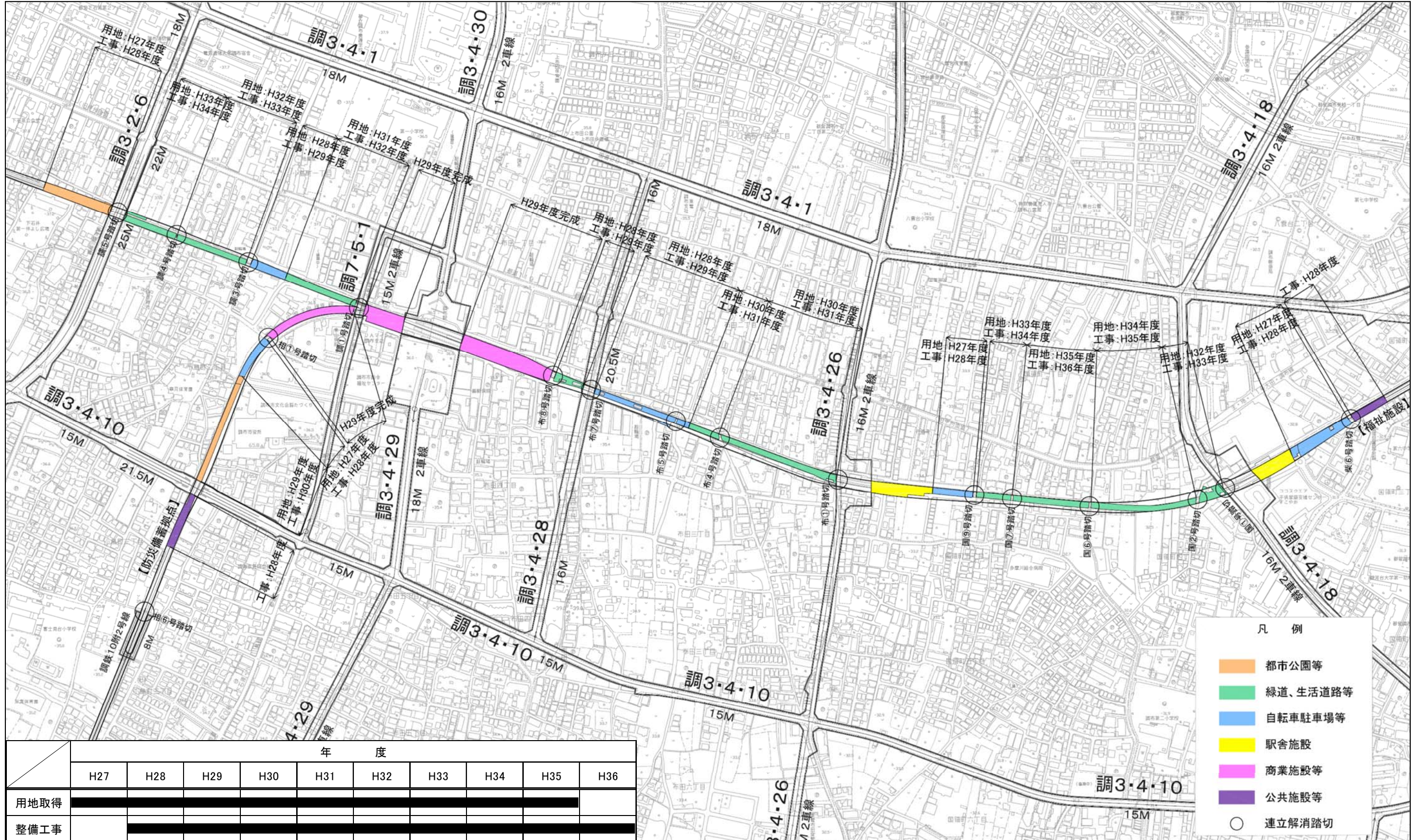
中心市街地デザイン・コンセプトは、京王線連続立体交差事業と一体となったまちづくりにより、新たに作られるものと既にあるものとを連携し、にぎわいと環境の調和した中心市街地を目指すために平成21年度に策定しました。

この中では、調布・布田・国領3駅の駅前広場を新たなにぎわいを創造する庭園広場とし、鉄道敷地を庭園のように四季感豊かな緑道空間で3駅と市内の様々な資源を結ぶ庭園通りと位置付けています。



(3) 鉄道敷地利用計画図

平成26年度に、鉄道敷地の利用の用途（都市公園等，緑道・生活道路等，自転車駐車場等，駅舎施設，商業施設等，公共施設等（防災備蓄拠点，福祉施設）），利用主体（調布市，京王電鉄株式会社），スケジュール（平成27年度～平成36年度）について鉄道敷地利用計画図として最終の取りまとめを行いました。



(4) これまでの市民参加の取組

○平成14年度 鉄道敷地利用検討会の発足

鉄道敷地利用検討会とは、市民の視点や感覚から鉄道敷地の利用を考え、ふさわしい利用方法を検討することを目的とし、平成14年度に組織されました。検討委員は、公募市民・商工会・青年会議所・若手商人塾・NPO法人調布まちづくりの会から推薦された市民・市の職員により発足しました。

○平成16年度 鉄道敷地利用検討会からの提言

鉄道敷地利用検討会から、今後の鉄道敷地利用の考えや意見を市民の視点で取りまとめた「鉄道敷地利用に向けての提言書」が提出されました。



○平成18年度 鉄道敷地利用に向けての地元勉強会等の実施

鉄道敷地近隣の土地・建物の所有者，居住者の方を対象とした鉄道敷地利用に向けての地元勉強会や鉄道敷地利用に関する市民アンケートを実施しました。

○平成23年度 調布・布田・国領駅前広場等検討報告会の実施

調布・布田・国領駅前広場，鉄道敷地について，これまでの検討内容に関する報告会を実施しました。



検討報告会の様子

○平成27年度 鉄道敷地ミーティング等の実施

平成26年度に公表した鉄道敷地利用計画図を基に，今後の鉄道敷地整備の方針について，鉄道敷地近隣の商店会・自治会等との意見交換会や「鉄道敷地ミーティング」を実施しました。

